

授業科目 スポーツ政策論

【担当教員名】 三宮 博己		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】 日本のスポーツ政策に関する行政機関の仕組みを始め政策決定プロセス、スポーツ政策実現に関する現状を明らかにします。また、近年話題となっている指定管理者制度、ネーミングライツ、スポーツ振興くじなど直面する諸課題についても取り上げます。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 スポーツ政策論の概念を理解するとともに、スポーツ政策論を巡る背景、状況等について理解する。 2 現代社会におけるスポーツ政策の重要性を理解するとともに、国や地方自治体が展開している諸施策について考察する。 3 諸外国のスポーツ政策を理解し、日本のスポーツ政策と比較・考察する。 4 国民のスポーツへの認識や活動の状況から、今後講じるべき効果的なスポーツ政策を工夫する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス・スポーツ政策論とは何か				講義
2	スポーツ政策の概念				講義
3	日本のスポーツ振興施策				講義
4	日本のスポーツ振興施策と行政システム				講義
5	スポーツ基本法について				講義
6	地方のスポーツ政策				講義
7	諸外国のスポーツ振興政策				講義
8	高齢者・女性・子供のスポーツ政策				講義・討論
9	日本の競技スポーツ政策				講義・討論
10	スポーツイベントと地域活性化				講義
11	指定管理者制度・ネーミングライツ・アンチドーピング				調査・討議
12	日本のプロスポーツビジネス				講義・討論
13	スポーツ振興投票（サッカーくじ）				講義・討論
14	スポーツをめぐる倫理的問題				講義
15	試験				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし（毎時間資料を配布する）			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、テストの状況から総合的に評価する。			【履修上の留意点】 主体的な活動を促進するため、自ら考える場、討論などを多く取り入れる。		